

ロケーションベースVR協会推奨

施設運営における感染症対策(2020年7月現在)

集計意義： 協会のガイドラインとして提示することで各施設が安心して掲示ができる事（入場制限などデリケートな部分）

サービス提供の現場における対策漏れの確認、類似施設での実施対策の均等化を図る事

注意点： 内容は5月時点で実施が妥当と判断した内容に関して、6月以降順次再開した施設で実行中のものとなります。

一般社団法人ロケーションベースVR協会

感染症対策ワーキンググループ編集

略号： P(POP)、D(Disinfection/Disinfection)、T(Temperature measurement)、S(Staff)、F(Facility)、SD(Social distance)、OP(OPERATION)

施設	施設ロケーション		屋外	屋外	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	実施事例が多く、実行すべきものを◎としています。 但し一部集計数が低くても経費が掛からず、且つ実施意義の高い項目にも◎を付記しています。					
	都道府県		神奈川県	東京都	東京都	東京都	神奈川県	東京都	東京都	大阪府	埼玉県	栃木県	集計	実施率	協会推奨	備考・注意点など	
大項目	中項目	小項目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
入場前	P	掲示：入場前	注意喚起・実施対策のご案内		○	○	○	○	○	○	○	○	10	100%	◎	館内で実施する対策や注意事項に関して明記	
	T	検温：サーモグラフィ	37.5度以上入場不可		○	○			○	○	○		5	50%	◎	短時間で検温が可能な反面機器が高額である	
	T	検温：体温計	37.5度以上入場不可				○	○	○				3	30%	○	非接触型推奨、サーモより時間がかかる	
	S	入場確認スタッフの設置	マスクの有無確認や注意事項の説明						○	○	○	○	4	40%	◎	入館後のトラブルを軽減できるが人手が必要	
	SD	入館人数の制限（数値は任意）	各施設の規模や状況に合わせて設定							○	○		2	20%	○	三密を回避できる在館人数を打ち出す	
	SD	列間隔の設定（1m～2m）	各施設の規模や状況に合わせて設定							○	○		2	20%	○	列が長くなる事も懸念される	
	SD	マスク着用者の入場を推奨	マスクの着用をお願いする							○	○	○	3	30%	◎	個人の感情も絡むため強制が難しい	
	D	消毒液設置	入場際に消毒を呼びかけ		○	○	○	○	○	○	○	○	10	100%	◎		
	D	手袋の配布								○	○		2	20%	△	プレイ中の様子が物々しくなってしまう	
施設内	F	屋内換気：窓開け	○		○			○	○		○	○	6	60%	◎	頻度や時間などが各施設ごとの対応になる	
	P	掲示：施設内	注意喚起・対策						○	○	○	○	4	40%	◎		
	D	消毒：他テナント	併設した飲食店舗など			○	○	○	○	○			5	50%	◎		
	F	トイレ設備制限	ハンドドライヤー中止		○	○			○				4	40%	◎	ウイルス飛散防止	
	D	消毒：施設内	通路や休憩スペース等開けた場所						○				1	10%	○	使用は任意	
			トイレ						○				1	10%	○	同上	
	F	飲食テーブルの制限・間隔の維持	半数・1m							○	○		2	20%	△		
P	手洗い・咳エチケットPOP掲示	トイレや水場など							○			1	10%	○			
アトラクション・運営	D	消毒：アトラクション	体験毎・アトラクション出入口			○	○	○	○	○	○	○	9	90%	◎	体験毎が望ましい	
			体験毎・手摺やシート等接触部				○	○	○	○	○	○	○	7	70%	◎	体験毎が望ましい
			定期清掃（毎回でない）		○	○								2	20%	△	可能な限り毎日に引き上げるべき
	SD	並び列制限（三密）	何mとするか等標準化が難しい		○	○	○		○	○			6	60%	◎	施設規模や換気状態にもよるが原則実施が好ましい	
	SD	座席・体験人数制限（三密）				○			○	○			4	40%	◎		
	SD	アトラクションの停止（三密）	三密を避けられない場合個別に停止						○	○	○		3	30%	◎		
	D	VRマスクの配布・使用	常時使用も含む						○	○	○	○	4	40%	◎		
	OP	団体・事前予約は当面見送り	当日券のみで営業							○	○		2	20%	△	各施設設備による	
	OP	他者(グループ)とマッチングNG								○	○		2	20%	○	スタッフ教育が必要	
OP	運営手順の変更	掛け声など飛沫感染可能性の排除						○		○		2	20%	○	同上		
OP	スタッフ立ち位置	正面を避ける							○	○		2	20%	◎	体験用装備装着時や説明時など正面を避ける		
従業員	S	検温：勤務前の検温（体調確認）							○	○	○	○	4	40%	◎	従業員保護の観点から重要	
	S	体調確認				○			○	○	○	○	4	40%	◎	従業員保護の観点から重要	
	S	マスクの着用	○		○	○	○	○	○	○	○	○	10	100%	◎	従業員保護の観点から重要	
	S	消毒：接客時	定期的な						○	○			2	20%	◎	従業員保護の観点から重要	
	S	手洗いうがいの徹底							○	○	○		3	30%	◎	従業員保護の観点から重要	
	S	手袋着用							○	○			2	20%	△	可能であれば実施が望ましい	

【注意する点】 口頭での対応項目の中でも特に「入場や体験を制限するもの、待機時間が長くなるもの」に関しては事前に想定されるリスクを把握したうえで対応する事が重要と考えます

略	項目	伝える内容	懸念されるトラブル	対策と対応
SD	体温による入場制限	感染拡大防止の観点から37.5度を超える場合入場をお断りしている点	事前に聞いていない、コロナではない、平熱が高いなどを訴える方がいる可能性が有る	①事前にしっかりと掲示しておく、HPなどで告知しておく
SD	入館人数の制限	三密対策として制限を実施している点	待たされることへの不満から発展しスタッフ個人へのクレームになる事が懸念される	②スタッフによる差が出ないようにしっかりとフレーズを決めて説明する
SD	座席・体験人数の制限	三密対策として制限を実施している点	同上	③別スタッフが別途説明にあたる（OPしながら全て説明するのでは負担が大きい）
OP	運営手順の変更	感染防止の観点から通常と異なる進め方をする点	常連顧客やクレーマーからいつもと違う点を指摘される可能性が有る	④待機列の段階で掲示または説明しておく事が望ましい